

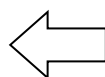
テーマ 教育の質を高めるチーム学悠館 **強みを活かして「変わる自分、変える未来。チャレンジ学悠館！」**

本年度の目指す生徒の姿

- 夢や希望を抱いて未来を描き、その実現にチャレンジする生徒
- 自分の能力に気づき、**主体的**・自律的な学びに真摯に取り組む生徒
- 多様な価値観を尊重して他者と協同し、共に成長する生徒

取組の視点

- よりよく生きるための資源となる健やかな心と身体を育てる
- 生徒の**強みや可能性**を引き出し、**主体的**・自律的な行動につなげる
- 諸活動の中で、仲間を信頼したり、貢献したりすることのできる豊かな感性を育てる
- 過去3年間の取り組みを総括し、諸活動の意味づけを再確認する
- 優先順位、スクラップ&ビルドを意識する



| 努力点 | 学校自己評価 | | | | 学校関係者評価 |
|------------------|---|--|------|------------|---------|
| | 本年度の具体的方策 | 評価指標 | 評価結果 | 次年度以降への改善策 | |
| 主体的に参加する 学習活動 | 面接指導やHRで「学習状況・特別活動出席確認一覧表」の活用を促し、記入確認や意欲喚起を行う。 | 表を活用できた生徒数が、昨年度より増加したA、昨年度同様であったB、昨年度より減少したC | | | |
| | 定期的な家庭に送付する「学習状況通知」を分かりやすく注意を引く書面にし、家庭での学習支援に役立ててもらおう。 | 保護者アンケートにより「学校からの通知は分かりやすかった、支援に役立てられた」の割合が70%以上A、60%以上B、60%未満C | | | |
| キャリア発達・進路実現を促す活動 | 個に応じたキャリア発達の支援を十分に可能にするホームルーム活動を計画・実施する。 | ホームルーム活動の実施が、十分にできたA、概ねできたB、不十分C | | | |
| | 各種コンクールや検定試験について、有用度や重要度が伝わる工夫を行い、積極的な参加や挑戦を促す。 | コンクール・検定試験等への応募者受験者が、昨年度より増加したA、昨年度とほぼ同じだったB、昨年度より減少したC | | | |
| 開かれた学校、地域との連携・協働 | ホームページと学報等の連携を密にし、家庭や地域に向けた情報発信を積極的に行い、学校と家庭の連携を図れるようにする。 | 家庭との連携が、十分にできたA、概ねできたB、できなかったC | | | |
| | 外部講師の招聘・活用を積極的に行い、面接指導、添削指導の充実を図り、さらに生徒向け・教員向けの各種行事の活発化を図る。 | 外部講師の活用が、積極的にできたA、おおよそできたB、あまりできなかったC | | | |
| 体力の増進と健やかな成長 | 体育のサーキット・体育的行事で、ラジオ体操を継続的に指導する。 | 生徒にアンケートを実施する。ア)十分にできた。イ)ある程度できた。ロ)できなかった。ア)+イ)が80%以上ならA、80%未満50%以上ならB、50%未満ならC。 | | | |
| 豊かな人間性・社会性の育成 | 学校行事や生徒会活動、クリーン運動等への積極的参加を促し、学校での活動を積極的に体験させる。 | 教員の生徒への呼びかけが、十分にできたA、概ねできたB、できなかったC | | | |
| | 同窓生に学校行事への参加を依頼し、生徒が同窓生との交流を深める機会を設ける。 | 生徒アンケートにより、「満足した」の割合が、70%以上A、60%以上B、60%未満C | | | |
| 安全安心な学校生活の提供 | スクールカウンセラーと連携し、教員間の共通理解を深め、生徒の指導に生かす。 | 学校評価の回答で、A+Bが生徒・保護者とも60%以上ならA、生徒・保護者のどちらかが60%以上ならB、どちらも60%未満ならC。 | | | |